

第7回 津田恒実杯中学校軟式野球大会 実施要領

1. 主 旨 本市出身の元広島東洋カープ投手 故津田恒実氏が野球殿堂入りを果たしたのを機に開催された標記大会を周南市野球連盟にて継続して開催すると共に、県内外の軟式野球の優秀チームとの対戦により、周南市のチームの競技力の向上と指導者の育成ならびに関係者との親睦、交流を図り、もって野球をはじめとするスポーツ推進や地域の活性化に繋げる。
2. 主 催 山口県野球連盟周南支部（周南市野球連盟）
3. 主 管 周南クラブ父母会
4. 後 援 （公財）周南市体育協会、周南市、周南市教育委員会、中国新聞防長本社
5. 会 期 令和元年8月11日（日）、12日（月） 「予備日：8月13日（火）」
6. 会 場 1日目（8月11日）：津田恒実メモリアルスタジアム（周南市野球場）
2日目（8月12日）：津田恒実メモリアルスタジアム（周南市野球場）
周南市新南陽球場
予備日（8月13日）：周南市新南陽球場、東ソーグラウンド
7. 連絡先 周南クラブ 長野 功
〒745-0816 周南市遠石 3-10-3-209
携帯：090-1014-2946
8. 適用規律及び試合形式
 - (1) 2019年 公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携（特別規則）及び本大会取決め事項を適用する。
 - (2) 大会はトーナメント方式で行う。1日目に1回戦4試合を行い、2日目に1日目勝者による順位決定戦（Aリーグ）と1日目敗者による順位決定戦（Bリーグ）を行う。
 - (3) 大会に出場するチームは、試合に出場できる選手10名以上20名以内であること。
 - (4) 正式試合7回戦、ゲームは7回戦であるが、暗黒、降雨などで7回までインングが進まなくても5回を終了すればゲームは成立する。ただし、健康維持を考慮し、5回終了時以降、試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいインングに入らない。
 - (5) その日の第一試合に出場するチームは、試合開始時刻の30分前までに打順表5部を監督および主将が大会本部に提出し、球審立会いのもとに攻守を決定し、直ちにシートノックに入る。
 - (6) 第二試合以降は、前の試合の4回終了時まで打順表を大会本部に提出し、攻守を決定する。
 - (7) 大会使用球は、M号（ナイガイボール）とする。（主催者が提供する）
 - (8) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とし、全試合に適用する。
 - (9) 7回を完了して同点の場合は、引き続きタイブレーク方式を行い、9回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。
 - (10) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7インングまでとする。ただしタイブレーク方式の直前のインングを投げ切った投手に限り1日最大9インングを投げることができる。
 - (11) シートノックは、5分間とする。天候その他、大会本部の判断により行わないこともある。
 - (12) ベンチは若番を一塁側とする。
 - (13) ロジンバッグはチームにて準備のこと。

9. 開閉会式

1 日目 津田恒実メモリアルスタジアム（周南市野球場）にて 8:00 より。

(1) 開会式

① 開会宣言

② 優勝旗返還及び準優勝カップ返還

③ 主催者挨拶

④ 来賓挨拶

⑤ 選手宣誓

⑥ 閉会宣言

⑦ 始球式 坂本 昌穂（山口県立南陽工業野球部元監督）

(2) 閉会式

① 開会宣言

② 成績発表・表彰

③ 講評

④ 閉会宣言

10. 表彰

優勝 : 賞状、優勝旗、優勝トロフィー

準優勝 : 賞状、準優勝カップ、準優勝トロフィー

第3位 : 賞状、3位盾

第4位 : 賞状、4位盾

Bリーグ1位 : 賞状、Bリーグ優勝トロフィー、優勝カップ

Bリーグ2位 : 賞状、Bリーグ準優勝トロフィー

参加賞

11. 参加チーム

周南クラブ3年生A、B、周南クラブ2年生

防府クラブ、府中オーシャンズ、山口ミラクルクラブ

広島REX、五日市観音シニア野球クラブ

計 8チーム

12. その他

2試合目以降のチームの練習会場は、以下の通りとします。

11日（日）：中央グランドー1,2

12日（月）：周南会場（津田恒実メモリアルスタジアム（周南市野球場）） 中央グランドー1,2
：新南陽会場（周南市新南陽球場） 東ソーグランド